

第 5 関係機関への報告・要請

1 病院災害対策室長が直接関係機関に報告・要請する情報

(1) 病院機能情報 (報告先 愛知県災害対策本部)

病院災害対策室は様式 4、7、8、9に基づき、被災状況、手術の可否、透析の可否、受入れ状況を EMIS 詳細入力(医療機関情報)に適宜入力することにより愛知県災害対策本部と共有する。

(2) 患者搬送車両要請 (要請先 愛知県 DMAT 調整本部)

転院搬送、域外搬送の必要性が生じた場合には EMIS に患者情報を入力するとともに愛知県 DMAT 調整本部に使用可能な通信手段にて搬送車両・搬送ヘリコプターの要請をする。

(3) 医薬品・医療器材の調達

(連絡先 保健医療調整会議設置保健所または DMAT 活動拠点本部)

医薬品の調達、医療器材の不足が生じた場合には病院災害対策室は保健医療調整会議設置保健所または DMAT 活動拠点本部に対して請求する。なお、当院が活動拠点本部指定されている場合には活動拠点本部を通し、愛知県 DMAT 調整本部に請求できる。

2 病院災害対策室長が災害対策本部長に報告し、災害対策本部が関係機関に報告・要請する情報

(1) 病院被災状況 (報告先 長久手市災害対策本部)

災害対策本部は様式 2、3、4に基づき職員安否状況、入院患者の状況、病院被災状況を使用可能な通信手段にて報告する。

(2) 消防車両・救助車両要請 (要請先 長久手市消防本部)

消防機関による消火、救助の必要性が生じた場合には災害対策本部は長久手市消防本部に使用可能な通信手段にて消防車両を要請する。

(3) 設備修繕

電話配線、ガス管、水道管、下水管、液化酸素タンク等の設備破損により修繕の必要性が生じた場合には、災害対策本部は関係機関に連絡する。

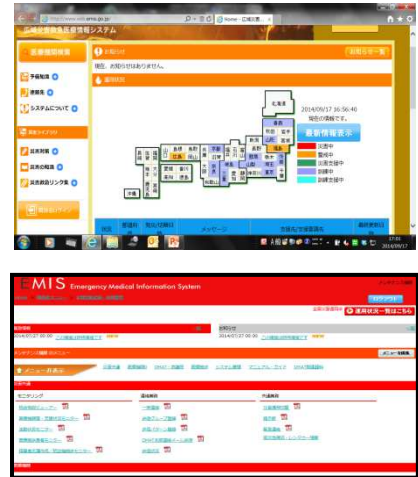
3 インターネットによる報告内容

◎EMIS (Emergency Medical Information System)

<https://www.emis.mhlw.go.jp/public/s/>

【特徴】

- ① 医療機関と行政、関係機関の情報共有ツール
 - ② 共有する情報
 - (ア) 需要情報：病院被害情報、患者受け入れ情報
 - (イ) 病院のキャパシティー：平時に把握
 - (ウ) 供給情報：DMAT 活動状況
 - ③ 災害時に共有が必要な情報のリスト
 - ④ 病院が発信すべき情報のリスト
- 災害時病院マネジメントに必要な情報のリスト
ト→病院支援ツール



☆ 緊急時入力（発災直後情報）

発災直後の医療機関情報（医療機関として機能しているか、患者の受け入れが可能か）の入力を行う。

① 倒壊状況

入院病棟の倒壊又は、倒壊の恐れがあることで患者の受け入れが困難な場合“有”を選択する。

② ライフライン・サプライ状況

ライフライン・サプライ（電気、水、医療ガス、医薬品・衛星資器材）の使用不可・不足により医療行為が行えない場合“無”または“不足ライフライン”が使用不可能

ライフライン（電気・水・医療ガス）が使用不可能な為、医療行為が行えない場合にチェックを行う。

③ 患者受診状況

キャパシティーのオーバーによってこれ以上患者の受け入れが困難な場合“有”を選択する。

④ 職員状況

職員の不足によって治療行為が行えない場合には、“不足”を選択する。

⑤ その他

報告機関	東京都
機関コード	2020000000
災害機関名	災害医療センター
機関更新機関名	災害医療センター
機関更新日時	2014-07-23 09:27:55

当ではまる項目にチェックをしてください。

緊急時入力（発災直後情報）	
倒壊状況	有 無
ライフライン・サプライ状況	
代替手段での使用可能、供給「有」「無」「不足」を選択してください。	
電気の供給の供給	無 有
水の供給の供給	無 有
医療ガスの不足	不足 充足
医薬品・衛生資器材の不足	不足 充足
患者受診状況	
多数患者の受診	有 無
職員状況	
職員の不足	不足 充足
その他	
上記以外で実施が必要な理由がなければ入力してください。（200文字以下）	
2014 7 23 09 27 55	
報告機関 0000000000	
メールアドレス	
入力	

①～④以外の理由で支援が必要な場合にその他欄にフリーで理由の入力を行う。

⑥ 緊急連絡先

緊急時の連絡先を入力する

⑦ 情報日時

⑤の状況を把握した日時を入力する。

☆ 詳細入力（医療機関情報）

医療機関の情報がある程度把握できた頃に入力を行う。医療機関の状況、災害医療の実績を入力する。

The screenshot shows a web-based form for inputting medical facility information. The form is organized into several main sections, each with a title and a set of input fields or checkboxes.

- 施設倒壊、または破損の恐れ**: This section includes checkboxes for 'Facility Collapse or Damage' (施設倒壊), 'Emergency External' (救急外来), 'General External' (一般外来), and 'Operating Room' (手術室). There is also a text input field for 'Other' (その他) with a note: '※上記以外に倒壊、または破損の恐れのある施設の情報を入力してください。(200文字以内)'.
- ライフライン・サプライ状況**: This section contains multiple rows of checkboxes for various services:
 - 電気の使用状況 (Electricity usage): 停電中 (Outage), 発電機使用中 (Generator in use), 正常 (Normal).
 - 水道の使用状況 (Water supply): 枯渇 (Depleted), 貯水・給水対応中 (Water storage/distribution in progress), 井戸使用中 (Well in use), 正常 (Normal).
 - 医療ガス (Medical gas): 枯渇 (Depleted), 供給の見込無し (No supply forecast), 供給の見込有り (Supply forecast).
 - 食糧 (Food): 枯渇 (Depleted), 備蓄で対応中 (Responding with reserves), 通常の供給 (Normal supply).
 - 医薬品 (Medicine): 枯渇 (Depleted), 備蓄で対応中 (Responding with reserves), 通常の供給 (Normal supply).
- 医療機関の機能**: This section includes checkboxes for 'Surgery possible' (手術可否) and 'Artificially possible' (人工透析可否).
- 現在の患者数状況**: This section displays the 'Current Patient Status' (現在の患者数状況) and includes a table for 'Disaster-affected patients' (被災後受入れた患者数) and 'Inpatients' (在院患者数). The table has columns for 'Severity' (重症), 'Medium' (中等), and 'Mild' (軽症) for both categories.

① 施設の倒壊、または破損の恐れの有無

医療機関の施設の倒壊又は、破損の恐れがある状況の有無を選択する。その他には、その他の施設の倒壊の状況を入力する。

② ライフライン・サプライ状況

現在のライフライン・サプライの状況を個別に選択する。不足の医薬品欄には、不足している医薬品名を入力する。

③ 医療機関の機能

現在の医療機関の機能の状況を個別に選択する。

④ 現在の患者数状況

「発災後、受け入れた患者数」には、発災後受け入れた患者数の累計を入力する。

「在院患者数」には、入院患者を含め、現在院内にいる患者の総数を入力する。

今後、転送が必要な患者数 ---- 年 ---- 月 ---- 日 ---- 時 ---- 分 現在日時反映			
重症度別患者数	重症(赤) ---- 人 中等症(黄) ---- 人 人工呼吸 ---- 人 酸素 ---- 人 担送 ---- 人 護送 ---- 人		
今後、受け入れ可能な患者数 ---- 年 ---- 月 ---- 日 ---- 時 ---- 分 現在日時反映			
災害時の診療能力(災害時の受入重症患者数) 2 人			
重症度別患者数	重症(赤) ---- 人 中等症(黄) ---- 人 人工呼吸 ---- 人 酸素 ---- 人 担送 ---- 人 護送 ---- 人		
外来受付状況、および外来受付時間 ---- 年 ---- 月 ---- 日 ---- 時 ---- 分 現在日時反映			
外来受付状況	受付不可 救急のみ 下記の通り受付 時間帯1 ---- 時 ---- 分 ~ ---- 時 ---- 分 時間帯2 ---- 時 ---- 分 ~ ---- 時 ---- 分 時間帯3 ---- 時 ---- 分 ~ ---- 時 ---- 分		
職員数 ---- 年 ---- 月 ---- 日 ---- 時 ---- 分 現在日時反映			
医師総数	DMAT医師数	DMAT看護師数	業務調整員数
114 人	4 人	5 人	2 人
出勤職員数	出勤医師数	内、DMAT職員数	
---- 人	---- 人	---- 人	
出勤看護師数	内、DMAT職員数		
---- 人	---- 人		
その他出勤人数	内、DMAT職員数		
---- 人	---- 人		
その他 ---- 年 ---- 月 ---- 日 ---- 時 ---- 分 現在日時反映			
その他 ※アクセス状況等、特記事項を入力してください。(200文字以内)			

⑤ 今後、転送が必要な患者数

入院患者を含めた在院患者のうち、転送が必要な患者数を入力する。人工呼吸／酸素が必要な患者数、担送／護送者数を入力することで、どのような患者の転送が必要かを発信する。

⑥ 今後、受け入れ可能な患者数

今後、受け入れが可能な患者数を入力する。人工呼吸／酸素が必要な患者数、担送／護送者数を入力することで、どのような患者の受け入れが可能かを発信する。

⑦ 外来受付状況、受付時間

外来受付の状況を入力する。

⑧ 職員数

現在の医療機関に出勤している職員数を入力する。

⑨ その他

その他、①～⑧以外の特記する事項（自医療機関周辺のアクセス状況等）をフリー入力する。

◎ DMAT 管理メニュー

当院から派遣されるDMAT または当院へ派遣されるDMAT（Disaster Medical Assistance Team）を始めとする各出動チームが、EMIS上のDMAT管理メニューによりDMAT チームの職種、人数、リーダー、チーム 連絡先、携行資機材等のチーム情報及び活動状況を入力することにより、病院災害対策室、DMAT 関係各本部が各チームのチーム情報、活動状況を把握することができる。

☆派遣要請時の入力

① 出動チーム登録

a 災害種別

地震、風水害、事故、テロ、その他の中から該当災害種別を選択

b チーム基礎情報

チームの携帯電話番号、衛星携帯電話番号 を入力する。

c メンバー情報

「メンバー選択」ボタンから出動時のチームメンバーを設定する。

d 資器材

出動時の各資器材の数量を入力する。

酸素ボンベに関しては、人工呼吸器接続有無を選択する。

※ “有” の場合、接続可否を選択



DMAT管理画面のスクリーンショット。上部には「DMAT・救護班」のヘッダーがあり、「DMAT入力業務」のメニューが表示されている。下部には「出動DMAT登録」のボタンがある。

画面下部には「DMAT管理」のタブがあり、「DMAT入力業務」のメニューが表示されている。下部には「出動DMAT登録」のボタンがある。

② 活動状況入力



DMAT活動状況入力画面のスクリーンショット。上部には「DMAT・救護班」のヘッダーがあり、「DMAT入力業務」のメニューが表示されている。下部には「DMAT活動状況入力」のボタンがある。

画面下部には「DMAT管理」のタブがあり、「DMAT入力業務」のメニューが表示されている。下部には「DMAT活動状況入力」のボタンがある。

a チーム選択

出動登録した該当チームを選択

b 所属本部

当初は参集拠点本部を選択

C 活動機関

活動予測される期間を入力
(2日以上)

d 活動状況

現時点の活動内容を準備中、待機完了、移動中、活動中、撤収、その他の中から選択

e 活動場所・到着日時

活動場所は参集拠点・各所属本部で入力されることから
到着日時のみ入力

都道府県	東京都
活動機関名	災害医療センター
DMAT(リーダー)	DMAT4(田邊 晴山)
最終更新日時	2014/07/23 10:39:43
最終更新機関名	災害医療センター

チーム編成

※所属本部が決定した場合、もしくは所属本部が変わった場合に入力してください。

所属本部 --

※被災地での活動期間を入力してください。

活動期間 年 月 日 曜 ~ 年 月 日 曜

※目的地・活動場所が決定した場合、もしくは変わった場合に入力してください。

目的地・活動場所 --

到着日時 年 月 日 曜 時 分

現在の活動状況は **準備中** です。

※現在の活動状況を選択してください

準備する	待機する	移動する	活動する	撤収する	その他活動
準備中 現在地 自動現在位置反映 地図位置設定					

□ 予定している目的地・活動場所